

西沢(主題)も述べているごとく、小さな大腸癌を見付けることは2つの点で重要である。1つは、X線あるいは内視鏡検査にて小さいものをどこまで、その存在のみならず質的に診断できるかという診断能の限界を求めること。もう1つは、その肉眼形態、組織所見より大腸癌の発生、発育ならびに進展形式を推定することにある。前者については、X線的には側面像の分析、内視鏡的には平盤状隆起、結節状で中心陥凹を伴うものが重要であるとされた(佐々木、牛尾、西沢)。後者については、中村は序説において、大腸癌の組織発生についての controversy と、一般に、現在考えられている有茎性腺腫内癌から潰瘍形成性進行癌への発育過程を想定するには、その中間型を臨床的に見付けることが必須であること、更

に、より客観的な組織診断基準の設定の重要性を強調した。それを受けて、本号の主題が展開されたわけである。

その結果、小さな大腸癌においても、改めて adenoma-carcinoma sequence が成立し、これが flat elevation なる臨床病態にも拡大されうること、これに対して、独自の組織学的基準によれば、大腸癌の大部分は腺腫を経ない de novo 癌であるとの結果から、臨床的にも 10 mm 前後の扁平あるいは無茎性の癌の発見がより重要であるとの提言が出され、両者の意見が対立した。この意見の差が、材料の差なのか、組織学的基準の差なのか、重ねて取り上げられることが望まれるが、前者の診断能の向上が後者の問題点を改めて浮き彫りにした功績は極めて大きい。

胃と腸

5月号(第22巻・第5号) 予告

発売予定 5月2日

定価 1,700円

主題/胆嚢癌の診断—発育進展を中心に

主 題	胆嚢脈管系の解剖……………医歯大・第2解剖	佐藤 達夫・他
	病理学的にみた胆嚢癌の発育・進展……………新潟大・1病理	渡辺 英伸・他
	胆嚢癌診断の現況と問題点—臨床総合診断の立場から……………旭川医大・3内	岡村毅与志・他
	胆嚢癌の進展—臨床診断の立場から……………山口大・1内	富士 匡・他
	胆嚢癌の進展—臨床診断の立場より	
	—新しい診断法による胆嚢癌の進展度診断……………名大・2内	乾 和郎・他
	胆嚢癌の進展—臨床診断の立場より	
	—胃癌・大腸癌と比較して……………癌研・外科	高木 国夫・他
	胆嚢癌の進展と予後……………久留米大・2外	中山 和道・他
主題症例	経過観察された胆嚢癌の1例……………癌研・外科	高木 国夫・他
	胆嚢癌の発育進展が観察された2症例……………東大医大・消	戸松 成・他
	経過観察を行った早期胆嚢癌の1例……………都がん検診センター	山田 耕三・他
	2年4か月臨床経過を観察された胆嚢癌の1例……………名大・2内	中澤 三郎・他
	術後5年で再発死亡した原発性胆嚢管癌の1例……………久留米大・2外	中山 和道・他
	臨床経過を観察し、癌の進展度を確認できた胆嚢癌の1例……………順大・消内	小川 薫・他
	臨床経過を観察しえた胆嚢癌の1例……………仙台市医療センター	藤田 直孝・他
	臨床経過を観察しえた胆嚢癌の1例……………山口大・1内	野口 隆義・他
	臨床経過を観察しえた胆嚢癌の1例……………虎の門病院	竹内 和男・他
	臨床経過を観察しえた胆嚢癌の1例……………藤枝市立志太総合病院	錦野 光浩・他
	肝内直接浸潤を伴った進行胆嚢癌の2例……………都立駒込病院・外科	岡本 篤武・他

胃と腸 (第22巻 第4号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 椿 孝雄

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 受付台 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5714

販売部直通 (03) 817-5659

1987年4月25日発行(毎月25日発行)

1部定価1,700円(配送料80円)

年ぎめ予約購読料19,080円(送料弊社負担)

FAX (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 814-5771

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1987, Printed in Japan.

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権の侵害となることがありますので御注意下さい。

(担当)窪田・長谷川・萩原・大竹